

# 地名と名字のつながりとは

「日野という地名の由来、

金持党のルーツを探る」講演会

10月24日に開いた、姓氏研究家・森岡浩さんの講演会で内容を、森岡さんに寄稿いただきました。

11月号の「日野という地名の由来」に続き、今月は「金持党」のルーツについて紹介します。



金持党発祥の地記念碑の除幕式



金持景藤公の墓

## 名字の成り立ち

現在、日本には十数万種類の名字がある。「佐藤」のように全国で200万人前後が名乗っているものから、全国に一軒だけという珍しいものまでさまざまだ。その中に「金持」という名字がある。

そもそも名字とは何だろうか。日本には古来から「姓」があったが、種類が少なく不便なため、平安時代に新しく「名字」という概念が考え出された。そして、「姓」が公式で「名字」は私的なものとして使い分けた。名字の由来は、大きく「地名」「地形や土地の様子」「方位方角」「職業」「藤原の末裔」「主君などからもらった」

「その他」の7つに分けることができる。この中で圧倒的に多いのが地名である。

今でも、親戚が集まると「(地名)の「さん」ということが多い。この「」の部分が名字になったのだ。

## 「金持氏」とは

日野町の金持は、「金属を産出する土地」という意味の地名。「金属」とは鉄を指していたことは明らか。

平安時代末期、金持には長谷部信連が流されている。流される、ということは中央の政権にその土地が認識されており、罪人を管理することができた、ということなのだ。金持にはかつて派遣された下級官僚があり、そのまま住み着いて、地名を名字にしたのではないだろうか。

金持氏は鉄を背景に成長し、鎌倉時代には伯耆国を代表する有力武士となった。そして、後醍醐天皇が船上山

に挙兵すると、金持広栄(景藤とも)が一族・郎党300余騎を率いて参加した。後醍醐天皇が京都に帰還する際には、錦の御旗を報じて天皇の左側に侍してしたという。その後も南朝に仕えて各地を転戦したが、伯耆は北朝の山名氏の勢力下に入り、勢力は衰退していった。

## 珍しい「かもち」読み

名字の由来を調べるとき、歴史上の文献に記載されているものだけで判断するのは危険だ。すべての人の先祖が歴史書に記載されているわけではないのだ。

私は、名字のルーツを調べる手がかりは、現在の分布にもあると考えている。少し古い電話帳で「金持」の分布を調べたところ全国に約100世帯あった。最近では登録しない人も多いため、実際にはもう少しいるのだろう。読み方は圧倒的に「かねも

ち」で、一割程度が「かなじ」「かねじ」もあるが、「かもち」は見当たらない。北海道から九州まで広く分布しているものの、北海道・秋田・東京と埼玉・東海から神奈川・大阪と和歌山の県境・兵庫・広島・徳島・福岡と佐賀の9カ所に固まっている。このうち、秋田と兵庫では、ともに鉱物の産地に集中しているおり、別ルーツの可能性が高い。

一般的に、有力な一族が出ると、その地域ではその名字は少なくなる。というの、「主君と同じ名字は名乗らない」という暗黙の決まりがあったからだ。伯耆の金持党は有力な一族であったがゆえに、伯耆では「金持」姓は増えなかった。そして、金持党の没落とともに「金持」姓もなくなると考えられる。しかし、金持が金持一族の発祥の地であることには変わりはない。

## 特別寄稿「金持党のルーツを探る」

森岡浩

# 来年度も9月に開催 ▼町民体育祭

今年9月に開いた町民体育祭について、各自治会の皆さんから意見をいただきました。主な意見は次のとおりです。来年度開催の参考にします。

## 【開催日程について】

- ・昨年アンケートをとり、9月の最終日曜日に決定した経過がある
- ・9月から11月とイベントが続いている。変えないほうがよいのではないかと

## 【競技種目などについて】

- ・アユかけリレーの道具の条件を同じにしてほしい。
- ・リレーのバトンゾーンが守られていなかったため説明を強化したほうがよい
- ・おしどりリレーの距離が短かった
- ・時間どおり終わってよかった。説明も聞きやすくスムーズであった

## 【その他】

- ・準備係など、来年から各組に手伝ってもらってはどうか
- ・何か副賞があればいいのではないかと
- ・不参加の地区があるが、参加してもらえよう働きかけてほしい
- ・組分けの方法も考えなくてはならないのではないかと
- ・50周年記念に日野町音頭を踊ったが、好評だったので来年も続けても良いと思う
- ・小中学生にもっと参加してほしい
- ・広報紙で反省会の内容を掲載してほしい
- ・黒坂地区球技大会について
- ・来年はグラウンドゴルフ、ニュースポーツに種目を変えて体育の日を行う

来年度の町民体育祭は、9月26日(日)に開きます。各自治会で参加くださいますようお願いいたします。

日時 平成22年9月26日(日) 午前9時～  
場所 根雨地区大会 = 根雨小学校グラウンド  
黒坂地区大会 = 黒坂小学校グラウンド  
問合せ 町教育委員会 (72 2107)

これらの意見を基に、町体育指導委員会で競技内容や種目についても検討していきます。

## 教育委員会からのお知らせ 補正予算などについて審議

12月3日、第12回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

**議案** 平成21年度日野町一般会計補正予算書の提出について「12月に開かれる定例議会に提出する今年度予算の補正について審議しました。

内容は、職員の給与改訂による減額補正と隣保館事業の実績見込みによる内容組み替えです。

**議案** 児童の通学区域外就学の承認について「来年1月から3月まで、久住季節間分校から黒坂小学校への就学等について許可しました。

**議案** 日野町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の申出について「期末手当の支給月数の引下げを行うものです。

**議案** 日野町子ども読書推進委員会設置要綱の制定について「日野町子ども読書推進計画を策定し、子どもの読書活動に関する施策を推進することを目的として、委員会を設置するものです。

**議案** 日野町子どもの読書推進委員会委員の委嘱について「要綱の制定に基づき、11人の委員を委嘱します。

※次回の教育委員会は、1月12日(火)午後2時から、役場第1会議室で行います。会議は公開していますので、お出かけください。

おめでとございます  
町体育指導委員が  
表彰されました

11月7日に若桜町で開かれた県体育指導委員研究大会で、町体育指導委員の金川正和さん(黒坂)が、中国体育指導委員協議会から20年勤続感謝状を受けられました。

また、11月19日・20日に山口県で開かれた全国体育指導委員研究協議会で、町体育指導委員会会長の高橋伸也さん(野田)が、全国体育指導委員連合から30年勤続表彰を受けられました。